

No.158



2021.Spring

〒840-0054 佐賀市水ヶ江3-1-25 電話 0952-24-2244 FAX 0952-24-3828 URL <https://www.sagaryukoku.ed.jp>



学校法人佐賀龍谷学園  
龍谷中学校・高等学校  
校長

吉川上水の歴史と文化

本校は、明治11年、1878年に振風教校の名で開校し、1885年に改めてここに定められました。よろしくお願いします。

歴史と伝統のある学校です。今年143年目を迎えました。浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の「み教え」を建学の精神として、「即身成

「自立」「内省」「平和」に基づき「こころの教育」と5つビジョンに加え人間力を養ううを身に付ける教育をプラス1として行つ

ています。(5) ナラス1の教育 校訓は「合掌」「感謝」「自立」「明朗」、スローガンを「凛として 朗らかに 爽やかに」です。

今、本校校内の桜の木も満開です。見ているとなんだかホッとします。多忙な心を癒やしてくれています。

ウイルス感染症の影響を受け、校舎や学業を止めなければいけない」とリモートでの授業、皆行事の中止も自粛。生徒達は、学校へ

校も出来ず、友人達とも会えず、勉強も部活動も影響を受けた。その中ではありますましたが、本校にとつて歴史に残る出来事があ

りました。初めて中学校と高校の合同体育祭を行いました。不安や心配もありましたが、みんなに喜んでもらいました。企画か

ら準備まで支えてくれた生徒会に感謝でした。また、高校生最大のスポーツイベントである佐賀県高校総合体育大会や佐賀県高等学校野球大会なども

結果、今大会は決して多くはないが、三井財團の主催で、多くの選手が参加する大規模な大会となりました。また、この大会は、SSP杯として、多くの選手が参加する大規模な大会となりました。

佐賀県教育委員会に方々に感謝です。本校の野球部は4時間を超える延長戦を見事制して優勝を成し遂げてくれた。この大会で最後まで、諦めない事の大切さを学びました。この大会は、関係機関による「する・

見る・支える」の協働で成し遂げられた大会だった。あの時は大変だった、このことは、きっと忘れない。新型コロナウイルス感染症の影響を受け見えてきたもの、学び獲たものがある。人生にはいいことも、そうでないこともある。どちらかと言えば上手くいかない事の方が多い。でも、前を向いて進んでいくしかない。

今年は、令和という新しい時代の幕開けから3年目を迎えました。東京オリンピック・パラリンピックが開催される年です。大会が無事に開催され成功に終わり、また明るい世の中が戻つてくることを期待したい。復興五輪の名前とのおり元気を取り戻したい。世の中は、日を追つて超スマート社会へと変化して行っています。学校での学ぶ内容も変わってきます。大学受験も内容が変わりました。当たり前ですが、学校もそれに合わせて変わっていきます。本校はで、児童生徒が高い「志」と「理想」をもつて新しい社会を牽引していく人材となるよう育成し、新たな社会へ対応できる「生きる力」「本物の学力」を育み主体的に学ぶに向かう事が大切だと考えています。「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のいわゆる「知・徳・体」の三つの要素をバランスよく育むとともに、自己の持つ個性と能力を最大限に發揮し、様々な個性を伸ばしていく。「知・徳・体」の調和のもと、国際的な視野に立ち、社会経済の発展に創意を持って対応し、文化の創造や産業の振興など社会や地域の発展に貢献できる、心身ともにたくましい人材の育成を教職員一同「チーム龍谷」を合い言葉に、生徒を伸ばしていきたいと考えています。学校現場も忙しくなるばかりですが、143年目となる本校の歴史と伝統に新たな歴史の1ページを教職員一丸となつて連携・協働を通して高め合い、素晴らしい学校へと成長させて行きたいと考えています。今年度、新たに入学してくれた生徒諸君。本校に入学してくれて、ありがとう。本校に一日も早く慣れて夢に向かつて頑張つてください。応援しています。

「知識」を得ることは大切である。ただそれだけではいけない、と最近よく実感する。私たちは「知識」を元で

く氣氛で、和がせん「知識」を元にして、さまざまことを考え、深めようとする。それは言い換えれば「知識」

を「知識」で終わらせるのではなく、得られた「知識」を私たちの「生活・行動」に反映させようとする力

「行動・実行」に反対させないといいな  
い、ということではないだろうか。

科・経験を通じて、本校の生徒は学びを深めていく。学びの深さにも、

さまざまな物差しがあるだろう  
が、ここでは授業を通じて「知

「知識」を得ると仮定しよう。生徒は多くの「知識」を学校生活で得ることになる。それは同時に

生徒1人1人が考える際の土台となり、これから的人生に活かしていくための

元となるだろう。  
ただ大事なのは、「知識」のインプツ

トで終わつてはいけないということである。学校生活・普段の行動の中で、インプットされた「知識」を元に、私自身の「生活・行動・実行」すなわちアウトプットに移していかなければならぬ、という二点が。

同様の構造は本校の「校訓」にもあ



ある。(文責 平井幸太郎)

龍谷へ来ててくれてありがとう。新たな旅立ち

## ～卒業式～



たから今の自分たちがある、いつかきっとそ  
う胸を張つて言える日  
が来るよう、これから  
の日々を送つてくださ  
い。これから皆さんの  
笑顔、涙、全てが人  
生を支える確かな土台  
となりますように。龍  
谷高校に来てくれて本  
当にありがとうございます。ご卒  
業おめでとうございま  
す。

(文責  
不一見)

暖かな陽射しが差し込み、桜の花も少し  
ずつ開き始めた3月1日、279名の卒業  
生が学び舎を巣立つて行きました。大学入  
試の改革など、様々な変更があつたその上  
に新型コロナウイルスに悩まされた1年半  
を送り、最後のインターハイも中止になる  
という、言葉では言えない思いを抱えた3  
年生でした。制約の中で最大限の工夫を凝  
らして成功させた龍谷祭、新型コロナウイ  
ルスの対策を講じながらの受験勉強、オン  
ライン授業やオンラインでの受験、その時  
その時をしつかりと受け止め、柔軟に対応  
し、進み続けてくれた3年生。厳謹な中に  
も、3年間の思いがしつかりと見える素晴  
らしい卒業式してくれました。これから  
それぞれの道を歩みます。この3年間があつ



|          |         |        |         |
|----------|---------|--------|---------|
| 西南学院大学   | 久留米大学   | 西九州大学  | 福岡工業大学  |
| 龍谷大学     | 岡山理科大学  | 麻布大学   | 九州産業大学  |
| 活水女子大学   | 関西外国语大学 | 関西福祉大学 | 布大学     |
| 関西大学     | 関西国际大学  | 関西福祉大学 | 龍谷大学    |
| 北里大学     | 九州共立大学  | 関西国际大学 | 岡山理科大学  |
| 九州国際大学   | 九州情報大学  | 関西福祉大学 | 活水女子大学  |
| 九州女子大学   | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西外国语大学 |
| 京都美術工芸大学 | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |
| 近畿大学     | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |
| 熊本学園大学   | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |
| 久留米工業大学  | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |
| 国際医療福祉大学 | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |
| 秀明大学     | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |
| 聖マリア学院大学 | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |
| 提南大学     | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |
| 崇城大学     | 京都産業大学  | 関西国际大学 | 関西国际大学  |

佐賀大学 宮崎大学 鹿児島大学 鹿屋体育大学  
島根大学 山口大学 愛媛大学 神戸市外國語大学  
大分県立看護科学大学 下関市立大学 島根県立大学  
防衛大学校

\* 桜咲く！ 合格状況

※浪人生を含む

**短期大学**

九州龍谷短期大学  
九州女子短期大学  
佐賀女子短期大学  
西九州大学短期大学部  
福岡女子学院短期大学

ひわこ成蹊スボーツ大学  
福岡国際医療福祉大学  
福岡女子学院大学  
法政大学  
身延山大学  
武藏野大学  
明治大学  
立命館大学  
立命館アジア太平洋大学  
流通経済大学

東京国際工科専門職大学 東京農業大学 長崎ウエスレヤン大学  
長崎外国語大学 長崎国際大学 長崎総合科学大学  
中村学園大学 日本経済大学 日本体育大学  
日本大学 日本文理大学 広島経済大学  
広島工業大学

福岡TCC動物海洋専門学校  
福岡力レッジ・オブ・ビ  
ジネス専門学校  
福岡こども専門学校  
福岡スクールオブミュー  
ジック&ダンス専門学校  
福岡デザイン&テクノロ  
ジー専門学校  
福岡ビジュナルアーツ  
福岡美容専門学校  
福岡ベルエボック美容専門学校  
福岡リゾート＆スポーツ専門学校  
福岡リハビリテーション専門学校  
柳川リハビリテーション学院

# 笑顔を繋ぐ、ご縁を繋ぐ

～サッカー部×西与賀小学校サッカー出前授業～

3月9日、コロナの影響で延期になっていた西与賀小学校5年生の皆さんとのサッカー出前授業が実現しました。今回は5年生だけとなりましたが、児童の皆さんも元気よくサッカー部員とサッカーを楽しんでくれました。最初は緊張の面持ちでしたが、サッカー部員の声かけに少しずつ打ち解けて、キッキングゲームでは工夫を凝らしながら頑張っていました。サッカー部員もキッズサッカースクールや盲学校とのブラインドサッカーの経験を生かし、全て教えるのではなく、児童の皆さんも気づけるような工夫をしており、高校生の成長も見られた1日となりました。休み時間には他の学年の児童の皆さんもグランドに出てきて一緒にサッカーを楽しみました。西与賀小学校の校長先生から、「コミュニケーション能力の高さが素晴らしいです。どんな社会に出ても大切な力なので、これからも頑張ってください、応援しています」という温かい言葉をいただきました。このご縁を大事に、自分たちの目標に向けてまた努力をし、今回ご縁をいただいた皆さんに笑顔を届けられるように頑張ります。西与賀小学校の皆さん、先生方、ありがとうございました。

(文責 不二見)



←西与賀小学校のHPでも紹介  
していただきました！！



←本校HPにも掲載しています。

## 雨でも頑張ったよ!! ~第3回キッズサッカーフェスティバル~



ト、イオンウォーターとソイジョイ、MIZUNO様からオリジナルマスクケースを協賛していただきました。ありがとうございました。

また、みんなで笑顔で目一杯サッカーが楽しめる日が来ますように。(文責 不二見)

3月28日、毎年恒例になっている園児対象のキッズサッカーフェスティバルを実施しました。昨年はコロナで中止となりましたが、今年はなんとか開催することができました。感染予防のため、龍谷こども園の園児さんだけでしたが、たくさんの参加がありました。残念ながら雨のため、短縮になりましたが、みんな一生懸命サッカーボールを追いかけて、笑顔があふれました。がんばったねの参加賞で大塚製薬様からボカリスエット、





# バスハイク

爽やかな春風が吹く4月23日（金）、高校3年生はグリーンランドへのバスハイクを行いました。バス乗車前の検温・手指消毒、車内・現地でのマスク着用など、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで実施されました。



多くのアトラクションに驚きながら、気の合う友人たちと沢山の思い出を作ることができました。  
（文責 平井幸太郎）



△第9回佐賀県高校ソフトテニスシングルス選手権大会（3月7日 SAGAサンライズパーク庭球場）  
男子  
ベスト8 松尾 榮輝（①城西）  
女子  
3位 深江 結女（③山内）

△第44回全国高等学校柔道選手権佐賀県大会（2月13日 SAGAサンライズパーク総合体育館）  
柔道  
3位 60kg級 岸川 右京（②三日月）  
2位 60kg級 大久保竜真（①有田）  
1位 60kg級 畠盛 友之（②三日月）

## ソフトテニス

## 柔道

（4月までの結果）

△第52回佐賀県高等学校選手権佐賀県大会（3月25日～27日 小城高校）  
柔道  
1回戦 龍谷 62対66 小城高校

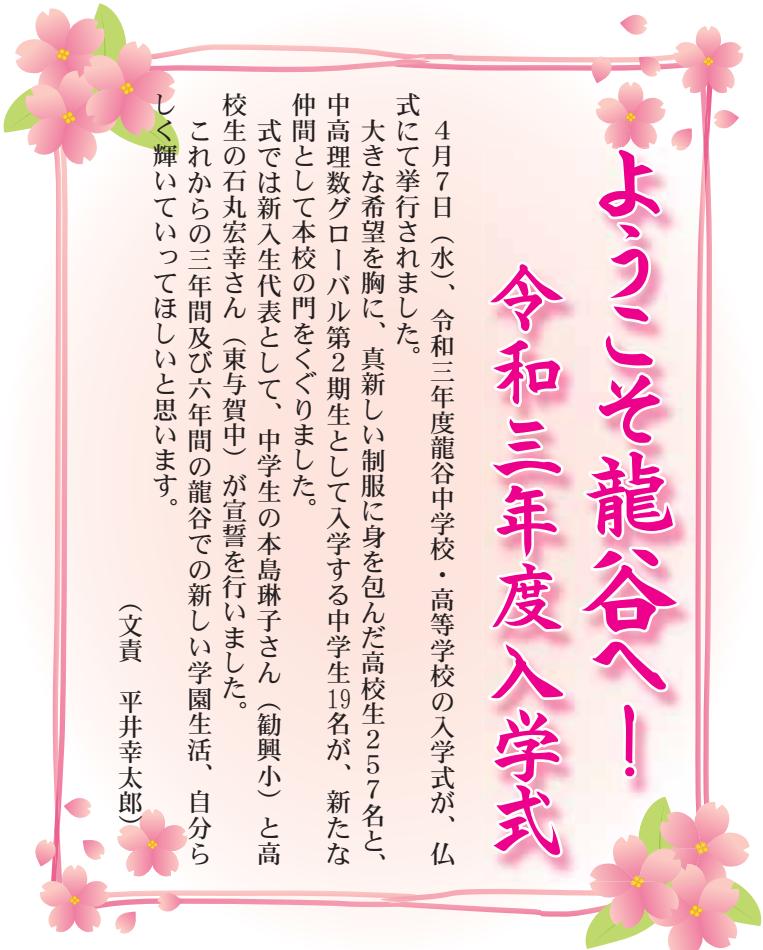
△第44回全国高等学校柔道選手権佐賀県大会（2月13日 SAGAサンライズパーク総合体育館）  
柔道  
3位 60kg級 岸川 右京（②三日月）  
2位 60kg級 大久保竜真（①有田）  
1位 60kg級 畠盛 友之（②三日月）

## 空手道部

## 自転車競技部

△第45回佐賀県空手道選手権大会（4月11日 佐賀市諸富町文化体育館）  
空手道部  
優勝 優勝  
。少年男子形 吉田 大倭（③城北）  
。少年女子形 百武 裕星（①城東）  
。少女女子形 平山 遥菜（②伊万里）  
。女子組手 深江 結女（③山内）

△第45回佐賀県高校バスケットボール春季選手権大会（3月25日～27日 小城高校）  
バスケットボール  
1位 佐賀市立龍谷高等学校



4月7日（水）、令和3年度龍谷中学校・高等学校の入学式が、仏式にて挙行されました。  
大きな希望を胸に、真新しい制服に身を包んだ高校生257名と、中高理数グローバル第2期生として入学する中学生19名が、新たな仲間として本校の門をくぐりました。  
式では新入生代表として、中学生の本島琳子さん（勧興小）と高校生の石丸宏幸さん（東与賀中）が宣誓を行いました。  
これから3年間及び6年間の龍谷での新しい学園生活、自分らしく輝いていってほしいと思います。

（文責 平井幸太郎）

## 1年生願正寺参拝

4月16日（金）に高校1年生を対象に「願正寺参拝」が行なわれました。「願正寺参拝」は龍谷中・高等学校の前身である「振風教校」が設立された願正寺に参拝をする1年の恒例行事となっています。今年は新型コロナウイルスの感染対策のため3つのグループに分かれて参拝しました。  
願正寺の境内に集まっているときはお喋りをしていた生徒も本堂内ではピンと張り詰めた雰囲気に緊張している様子でした。また本堂では、ご住職から龍谷中・高等学校の歴史と願正寺との関わりについてのお話や、宗教部長より建学の精神や宗教教育の意義についてのお話を聞きました。  
まだ始まって間もない高校生活ですが、普段の学校生活とはまた違った雰囲気を身体で感じ取ることができる有意義な行事になつたのではないか。  
（文責 横曾根）



# ～龍谷でこんな取り組みしています！～

## 【SDGs 龍谷中学校×三井住友信託銀行】

3月5日龍谷中学校にて、三井住友信託銀行とのコラボレーションによるSDGsの特別授業が行われました。SDGsの169のターゲットから、中学3年生が自らの意思で選択したことに関する専門家4人と「対談」するという内容です。今回「対談」という言葉を使用した理由は、専門家の方々に質問をするだけの学習ではなく、生徒が主体的に自分の意見をしっかりともち、専門家へ提



案したり、自分の考えを伝えたりすることでした。本番当日までは毎日のように10分間の対話スキルを磨くトレーニングにも取り組みました。特別授業当日も堂々と専門家の方々と語り合うことができました。マラリア撲滅を目指す活動に取り組む専門家のパートでは、専門家の方が「私たちの目標は、私たちのグループがなくなることです。」と話をされ、ゴールを達成することを目標にしているというフレーズに会場が沸きました。水俣病問題に取り組む専門家は「まだ終わっていないんです。昔の話ではないんです。」という内容の話をされ、この問題を風化させてはいけないと正面から取り組むことの大切さを教えていただきました。そして、LGBTQを支援している企業の方は「私はレズビアンの〇〇さんです。と紹介されるのではなく、そういうことすらなくて、〇〇さんです、と紹介されたい」と話をされました。特別なこととしてLGBTQを扱わなくなることを期待されていました。生徒たちの中には、「女の子同士で手をつないで歩く様子を気持ち悪いと思ってしまったことがある。話を聞いて、考えを変えていきたい。」と語る場面もあり、本当に今回のSDGsについての学習が自分ごとになっていることをよく分かる瞬間でもありました。

今回の経験は、参加した生徒たちの未来のどこかで必ず生かされるものになったと思います。

最後になりますが、先日、この特別授業に専門家として参加していただいた環不知火プランニングの森山亜矢子さんが龍谷中学校に来校されました。そのときの生徒たちの学ぶ姿勢や考えに大変共感されたということでした。こうした人と人とのありがたい「つながり」にも感謝し、龍谷中学校と社会とのつながりも持続可能なものにしていくことも求められていると感じています。



学校法人佐賀龍谷学園 × 三井住友信託銀行ESDプロジェクト

## 中学3年生が4人の専門家と オンラインで「対談」。

強く関心をもつSDGsのターゲットについて  
深く学び、スペシャリストになろう！





# SDGs なう

## SDGs プロジェクト 絵はがきで国際交流～日本と香港をつなぎました～

昨年度、三井住友信託銀行よりお声掛けいただき、「SDGs普及活動をしよう！」というテーマのもと絵画・書道の生徒作品が絵はがきになりました。その絵はがきを英訳し、ニューヨークの国連へ届けよう！」と、作品に込めた想いを発信しました。これをご覧になった同行香港支店スタッフの方から交流を持ちたいと言っていただき、3月18日リモート対談が実現しました。



### プログラム1

SDGs絵はがき作成者が英語で自己紹介・絵はがき作成意図の発表を行い、絵はがきについて、香港支店現地スタッフ・日本人スタッフからコメントをいただきました。

### プログラム2

海外勤務・銀行業務・海外生活についてのお話を伺い、それに対して生徒たちが質問を行うなどして交流しました。

- 「学生時代に取り組むべきことは何か。」との生徒の質問に対して、「学生時代、何かに没頭できた者が社会で活躍する。とにかく夢中になれるものを探してみよう」との香港支店行員から助言をいただいた。この言葉に触発されて、新しいことに実際向き合い、取り組み始めた生徒が現れた。とても喜ばしいことでした。
- 生徒の感想
  - ・自分の視野が広がっただけでなく、もっと主体的にSDGsや世界について考えを深めたいと思うきっかけになりました。実際に仕事のプロの姿を見て、自分の考えを言葉で相手に的確に発信できる力、自己発信力をこれから私も身につけ、そして研鑽を積んでいこうと思いました。また、香港で行われているという「フードバンク」に興味を持ったので、調べてみたいと思いました。非常に貴重な体験になりました。
  - ・私はほんの少しの英語を話すだけで精一杯でしたが、香港の方は英語も日本語も上手くて凄いと思いました。私の質問に答え建物関係のことについて説明してくださったので勉強になりました。香港の建造物は竹を使って足場を作っていると知り驚きました。三井住友信託銀行には建築コンサルティングの仕事があるという話を聞き、まだ私が知らない仕事が世の中にはたくさんあることを実感しました。そして何よりも感じたことは、皆さんが楽しんで仕事をしていらっしゃるということです。私には皆さんに輝いて見えました。海外で仕事をしたいと夢が広がりました。



# 「ワクワク・ドキドキ」の 一年間、スタート!!

龍谷中学校 2021

中学校



中学校課程を修了した生徒のみなさんの表情は晴れやかで、これからの活躍が大いに楽しみです。  
(文責 松尾)

令和3年3月13日(土)、第25期生19名(現高1生)に対して、「卒業証書授与式」が、新型コロナウィルス感染症対策を講じ、本校講堂にて開催されました。

阿弥陀如来様の御前で、吉松幸宏校長から生徒一人ひとり卒業証書を受け取りました。生徒を代表して古川麗音さん(神野小)が、「新型コロナウィルスの影響で自分たちが理想とする年ではありませんでしたが、その分初めてのことに挑戦し強い絆が生まれた、発見と進歩の一年だったと思います。一つにまとまるこの素晴らしい一年を深く感じることができました。……」と答辭を述べました。更には、家族や後輩、そして教職員への感謝の言葉を申し添え、各々の夢実現に向けて、高等部でも努力を怠らないという決意を示しました。

令和3年4月7日(水)、「入学式」が本校文化体育館にて中学・高校合同で行われました。

中高一貫理数グローバル2期生(19名)が、真新しい制服に身を包み、緊張した表情で式に臨みました。

新入生を代表して本島琳子さん(勧興小)が、「これから始まる中学校生活がとても楽しみです。新たな仲間とともにさまざまなことに挑戦したいと思っています。プログラミングや英語など今まで深く携わることのなかつた分野まで学び、人間として大きく成長していきたいです。そして、将来自ら考え、行動し、自分の道を切り拓いていける大人になります。」と宣誓しました。



式後のホールームでは、新入生一人ひとりにiPadが無償貸与され、親子で基本操作の練習を行い、新たな学校生活への第一歩を踏み出しました。  
(文責 松尾)



## 中高全校生徒集う、「対面式」



令和3年4月8日(木)、中学生(48名)、高校生

(71名)の龍谷生が勢揃いして、「対面式」が本校グランドにて行われました。

中学・高校の新入生と2・3年生が向き合い挨拶を

交わし、次に中学生と高校生が挨拶を交わしました。

中学生生徒会長の岡夏未さん(東与賀小)が歓迎の言葉を述べ、新入生を代表して江島邦彦さん(赤松小)が「入学式を終え、いよいよ新しい生活が始まると思うと、ワクワクしています。(中略)不安はあります、新しい仲間と共に、切磋琢磨しながら、これまで以上に努力し成長していきたいです。」と、約800名の全校生徒を前に堂々と挨拶しました。

龍谷の先輩、後輩が力を合わせ、希望に満ちたスタートとなりました。  
(文責 松尾)

## 龍谷中高一貫理数グローバル2期生 SDGs学習キックオフ！



新一年生がSDGs学習を始めました。なぜSDGsのような目標設定が必要なのかを生徒同士のディスカッションを通して考えた上で、17のゴールについて概要を学びました。さらに、その17の目標についても、重要度の高さに応じて整理する学習「ダイヤモンドランキング」の手法を取り入れ、4～5人のグループに分かれて再度ディスカッショングを行い、最後はプレゼンテーションを行いました。自分の考えをしっかりとともつているからこそ、人前でも考え方を述べることができます。入学後間もない時期でありながらも、しつかりと議論を進めていた様子を見ることができました。

SDGsの学習は3つあると考えています。一つはそれぞれのゴールが設定されている理由を学ぶこと、次にそういう目標があることを世の中の人々へ伝えること、そして、自分たちの身の回りにある社会問題について解決するために何ができるのかを考え、行動に移すことです。今後、STEAM教育の視点も取り入れながら、生徒たちが社会へ発信したい思いや「もの」を共創していく学習にも取り組みたいと思っています。

（文責 中村）

新一年生がSDGs学習を始めました。なぜSDGsのような目標設定が必要なのかを生徒同士のディスカッションを通して考えた上で、17のゴールについて概要を学びました。さらに、その17の目標についても、重要度の高さに応じて整理する学習「ダイヤモンドランキング」の手法を取り入れ、4～5人のグループに分かれて再度ディスカッショングを行い、最後はプレゼンテーションを行いました。自分の考え方をしっかりとともつているからこそ、人前でも考え方を述べることができます。入学後間もない時期でありながらも、しつかりと議論を進めていた様子を見ることができました。

SDGsの学習は3つあると考えています。一つはそれぞれのゴールが設定されている理由を学ぶこと、次にそういう目標があることを世の中の人々へ伝えること、そして、自分たちの身の回りにある社会問題について解決するために何ができるのかを考え、行動に移すことです。今後、STEAM教育の視点も取り入れながら、生徒たちが社会へ発信したい思いや「もの」を共創していく学習にも取り組みたいと思っています。

（文責 中村）

## 退任者・新任者紹介

### 【退任者】

陣内陽子先生（副校長・英語）  
Alan Resendes先生（ALT・英語）

陣内先生は、平成27年から副校長として中学校全体の活性化に努められ、特に英語指導にご尽力いただきました。テレビ会議システムを活用してオーストラリアの生徒と交流を深めたり、SDGsに関する活動を積極的に推進なさるなど先見的な取り組みを果たされました。

Alan先生は、令和2年から一年間の間勤務でしたが、各クラスの授業はもちろん、日々の朝礼や終礼などにも参加されて、ユーモアたっぷりの英会話やゲームを行っていただき、生徒のみなさんの人気者でした。お二人の先生、これまで本当にありがとうございました。

### 【新任者】

森厚憲先生（社会）

Patrick Dodgson先生（ALT・英語）  
Andre Shorthouse先生（ALT・英語）

この4月より本校に着任された3名の先生方です。  
龍中の新たな仲間として、大いに活躍されます！



（文責 松尾）

佐賀龍谷学園のみなさんへ 2022年度 入試に向けて

## 龍谷高校生が九州龍谷短期大学に進学する主なメリットとは？

- ★ 入学金（10万円）が全額免除されます。
- ★ 龍谷高校からの入学生は、大学独自の給付型奨学金が受けられます。  
(2年間で最大48万円＝2年間でかかる授業料の約40%を充当できる金額です。  
※保育学科2年課程授業料の場合、ただし半年ごとに学修状況等で見直し有り)
- ★ 高校在学中から短大の先生と交流する機会があり、大学の授業に自然になじめます。  
小規模校ならではの、一人ひとりの個性が生かされる体制で学びを深められます。  
学修環境、経済的負担から考えても、進路選択において検討の価値あります！

鳥  
栖  
市

九州龍谷短期大学  
学園だより

### オープンキャンパス開催！

5/2(日) 6/19(土)

7/3(土) 8/7(土)

8/22(日)

9/23(祝・木)

百聞は一見に如かず、

見て感じて、

本学を深く知ってくださいね

**OPEN**

実施概要等の詳細は  
LINEやホームページをチェック★



人間コミュニケーション学科  
三原 健吾 専任講師

私たちの何気ない行動や判断には、心が大きくかかわっています。心のはたらきを探求する心理学の奥深い世界を、皆さんと一緒に楽しみたいと思います。



保育学科  
高井 翔南 専任講師

興味がある事柄・身近なシチュエーションを想定した英語や音楽教育を、実際の保育現場で役立つ知識や能力とともに学びましょう。

幼保連携型 認定こども園

九州龍谷短期大学付属

**龍谷こども園**

令和3年度スタートしました！  
新任の先生も"初めて"が…

ワクワク、ドキドキ



新しい先生と一緒に



みんなで給食！おいしいよ！



初めてのサッカー教室を  
みんなで楽しみました

### [よいこのおやくそく]

- ・わたくしたちは、みほとけさまをおがみます
- ・わたくしたちは、いつも「ありがとうございます」と  
いいます
- ・わたくしたちは、おはなしをよくききます
- ・わたくしたちは、みんななかよくいたします
- ・毎朝、手を合わせてお参りをしています



テラスや園庭で  
初あそび！

